

平成 26 年度（2014 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（後期課程）
外国語（ドイツ語）

（注） 問題用紙 2 枚、解答用紙 2 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

I. 次の文章を読み、問 1 ～問 3 に答えなさい。

引用文 下記文献 186 頁 2 行目 Die bekannteste から同、26 行目 betrifft.まで

下線部(a) 下記文献 186 頁 2 行目 Die bekannteste から同、6 行目 mitstrukturiert.まで

下線部(b) 同、16 行目 Wilhelm von Humboldt から同、18, 19 行目 unserer Wahrnehmungsstrukturen.まで

下線部(c) 同、23, 24 行目 übereinzelsprachlicher Universalien

下線部(ア) 同、10 行目 Nach Whorf から同、10, 11 行目 prägen.まで

下線部(イ) 同、21 行目 Für ihn から同、22 行目 dar.まで

（出典：Elisabeth Leiss „Sprachphilosophie“ 第 2 版, de Gruyter, 2012）

問 1 下線部(a)、(b)のドイツ語をそれぞれ日本語に訳しなさい。

問 2 下線部（ア）、（イ）のドイツ語はそれぞれどのようなことを意味しているのか。本文に即してそれぞれの内容をわかりやすく日本語で説明しなさい。

問 3 下線部(c)の意味をわかりやすく日本語で説明しなさい。

II. 次の文章の下線部(a)、(b)、(c)、(d)のドイツ語をそれぞれ日本語に訳しなさい。

引用文 下記文献 16 頁 10 行目 Wertung から同、19 行目 zusammen.まで

下線部(a) 下記文献 16 頁 10 行目 Wertung から同、11 行目 verbunden sind.まで

下線部(b) 同、11 行目 So viele から同、13 行目 worden sind, まで

下線部(c) 同、14 行目 Diese から同、17 行目 erwarten.まで

下線部(d) 同、17 行目 Dieser から同、18 行目 bezeichnen.まで

(出典：Hans-Werner Eroms „Stil und Stilistik“, Erich Schmidt Verlag, 2008)